

三重県障害者施策推進協議会
平成29年度第1回手話施策推進部会の開催結果（概要）

1 開催日時・場所

日時 平成30年2月22日（木） 10時～12時

場所 三重県聴覚障害者支援センター 研修室（津市桜橋2丁目131）

2 会議の概要

(1) 委員9名のうち出席者6名（傍聴者2名）

議長 安田委員が選任された

(2) 説明事項

- ①手話施策推進部会の設置概要
- ②三重県手話言語条例の概要
- ③三重県手話施策推進計画の概要

(3) 協議事項（三重県手話施策推進計画」進捗状況の中間報告）に係る委員の主な意見等

- ・手話奉仕員スキルアップ講座の統一カリキュラムの作成に感謝・期待する。
- ・手話を習った県等職員や手話奉仕員が手話サークルに入ることを期待する。
- ・手話を習った方がそれぞれの段階に応じて、次のステップにつなげていけるような取組が重要。
- ・基本的施策3施策展開（3）①の小中学校における手話を学ぶ取組について、どのような状態を目指すのかという視点は重要。
- ・学校で視覚障がい者、聴覚障がい者の授業があり、聴覚障がい者は目も見えないとか、手話がみんなできるとか思い込んでいる。聴覚障がい者に対して正しい知識を持つことが必要である。
- ・コミュニケーションツールとしての手話を広めるのではなく、手話言語条例という中で広めていくということは、手話を言語として認めること。障がい者の歴史の中で、聞こえなかったことによりどういうことが起こったのか、しっかり伝えていただけると、聴覚障がい者に対して偏見とか差別とかなくなって、受け入れられる子どもたちも増えると思う。
- ・学校教育のチャンネルでいろんな施策を進めていくのは有効だと思う。しかし、多くの県民はほとんどが大人。大人に対して施策を広げていくために、しっかり論議していく必要がある。
- ・ICTは電話リレーサービスと遠隔手話サービスがある。遠隔手話サービスができたらいいと考えている。遠方の方が聴覚障害者支援センターに行こうとしてもすぐには行けないので、チャット等で手話を見られたらよいと考えている。
- ・ICTは、技術革新に伴ってあり方が変わってくると思うので、今後も調査・研究をお願いします。

(4) その他

①所管所属の移管（案）の説明

現在の健康福祉部障がい福祉課から、平成30年度より子ども・福祉部障がい福祉課に移管

②次回開催 平成30年6～7月を予定

以上